

2005年9月より済生会熊本病院臨床工学部より週2日の派遣で業務を行っており、常勤の臨床工学技士は不在である。

1. ME機器中央管理業務

ME中央管理室の業務では、機器の貸出し、保守点検整備および修理を主たる業務としている。

中央管理しているME機器は、人工呼吸器4台、NPPV4台(レンタル3台)、輸液ポンプ23台、シリンジポンプ8台、経管栄養ポンプ3台、小型シリンジポンプ5台、低圧持続吸引器5台、除細動器3台、AED5台、体外式ペースメーカー2台、その他に麻酔器、電気メス、医用テレメータ、ベッドサイドモニター、自動血圧計、パルスオキシメーター、ジェットネブライザーなどである。

今年度は、熊本病院より輸液ポンプ、シリンジポンプ、モニタ送信機を譲り受けた。

表1. 点検件数(2019年度)

機器種類	集計
輸液ポンプ	418
ジェットネブライザー	60
小型シリンジポンプ	31
低圧持続吸引器	22
シリンジポンプ	14
ベッドサイドモニタ	14
栄養ポンプ	11
NPPV	8
カフ圧計	6
除細動器	5
人工呼吸器	5
医用テレメータ	5
AED	1
総計	600

機種別点検件数を示している。

点検件数は、600件であった(前年度892件)。

2. 病棟機器の保守整備業務

機器の保守・調整は、中央管理機器に限らず病棟管理の物品も行っている。

修理件数は42件であった(前年度66件)。

要因別での修理件数が多かった機種は、消耗品の交換で電子血圧計、故障でパルスオキシメータ・モニタ、破損で吸引器であった。

パルスオキシメーターは、修理費より安価で同性能・同耐久性の物へ更新中である。保証期間のみ修理を依頼している。

3. 人工呼吸器業務

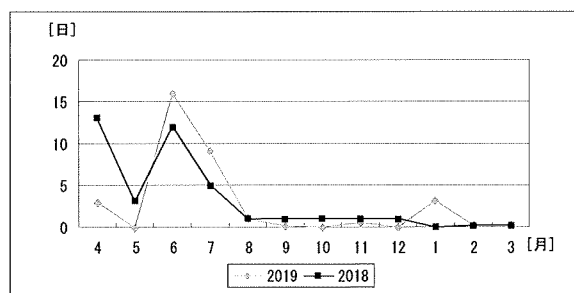
人工呼吸器が必要な緊急時は、機器を選定しベッドサイド配置及び呼吸器設定の補助を行っている。

定期的な回路・フィルタ交換を行っている。

要望に合わせ蛇管構成の変更も行っている。

需要に応じてNPPVのレンタル手配・整備を随時行っている。

図1. 人工呼吸器の稼働状況(2018・2019年度比較)

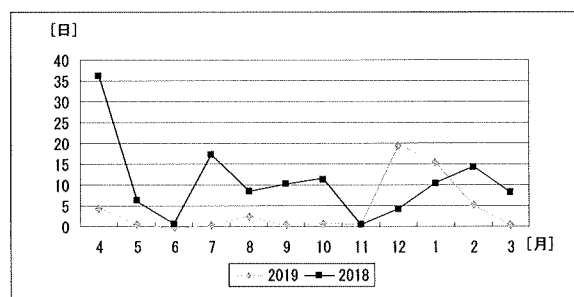


2018・2019年度の月別の稼働日数を表している。

平均稼働率1.75%(前年度2.11%)

使用数日 32日(前年度38日)

図2. NPPVの稼働状況(2018・2019年度比較)



2018・2019年度の月別の稼働日数を表している。

平均稼働率2.47%(前年度6.89%)

使用日数 45日(前年度124日)

2011年11月よりNPPVのレンタルを開始しており、1台使用する毎に予備機を追加している。

オートセットCS-A(心不全用)2台、ニップネーザルV(呼吸不全用)1台を常備している。

4. ペースメーカー業務

対外式ペースメーカーの電極挿入時にジェネレーター操作及びサポートを行っている。

5. 手術室業務

麻酔器の保守を行っている。

手術の補助も行っている。

6. ME教育・指導

ME機器の原理、構造、適切な使用法の勉強会を行っている。

起こりうるトラブルとその対処、安全対策等に関して随時情報提供を行っている。

トラブルの報告があった際は、迅速に対応・原因追求して返答し、その情報をME中央管理室に蓄積して、メーカーとの協議を行っている。